

# イベント情報 (11月~12月)

イベント内容は天候等の理由により、変更する場合があります。

## ◆親子のわくわく自然探検

遊びを通して楽しみながら親子で自然とふれあうプログラムです。季節に応じた素材をテーマに毎月開催。

日付/内容 11月13日(日)「タネのひみつ・模型づくり」  
12月3日(日)「森の宝箱を作ろう！」  
時間 10:00~12:00

対象 小学生と保護者 定員 20名  
参加費 100円(保険代)、12月は200円(材料費込)  
要申込

## ◆森の隠れ家を作ろう!

雑木林の管理作業で出た枝や竹を使って、かくれ家を作ります。みんなで力をあわせてかくれ家作りに挑戦しませんか?

日時 11月14日(月) 10:00~12:30  
対象 小学生以上 定員 20名  
参加費 100円(保険代) 要申込

## ◆大人の自然観察会~初級者編・秋~

生き物豊富な緑の森博物館をフィールドに初級者向けの観察会を行います。自然の営みを再発見しましょう。

日時 11月19日(土) 9:30~12:00  
対象 中学生以上 定員 20名  
参加費 100円(保険代) 要申込

## ◆集まれ! ジュニアレンジャー

森の中に隠された謎を解きながら、仲間といっしょに森をつきすずめ! 緑森について知りつくそう!

日時 12月23日(金祝) 10:00~15:00  
対象 小学生 定員 20名  
参加費 100円(保険代) 要申込

## ◇緑の森フェスティバル・2011秋

野外ミニガイドウォーク、クイズラリー、緑の森博物館周辺の自然をテーマにした写真や絵画等の作品展示などを開催。土日には地元市民による演奏会や野菜などの販売も予定しています。緑森で楽しい一日を! 詳細はホームページをご確認ください。無料(一部有料)。

日時 11月5日(土)~14日(月)  
9:00~17:00 ※初日10:00開始  
対象 どなたでも

## ★イベントのお問い合わせ・申し込み★

電話(TEL 04-2934-4396)で博物館までご連絡ください。  
また、公式ホームページからお申し込みできるようになりました。  
イベント内容等の詳細は、お気軽にお問い合わせください。  
みなさんのお申込みお待ちしております!

## スタッフコラム

さまざまな得意分野を持つ緑森スタッフの面々、この「スタッフコラム」では、そんなスタッフたちの視線の先をご紹介します。今号は、もくぞう(島貫)担当です。

「博物館」ってどんな所? 皆さんはどんな場所を思い浮かべますか。おそらく多くの方が「屋根のある大きな建物の中に展示物がたくさん並んでいて、解説を見ながら、あるテーマについて期間限定で学習できるところ」を想像するのではないのでしょうか。展示室がありますが、博物館にしては小さい気がします。どうして小さいのでしょうか?

その理由は、緑森がフィールドミュージアムだからです。全国にはいろいろなフィールドミュージアムがありますが、特定の建物を持たず、あるエリア内の自然環境や文化(時には人も!)など様々なものを展示物とする野外博物館が多いようです。そのため、「屋根のない博物館」「田園空間博物館」などと呼ばれることもあります。

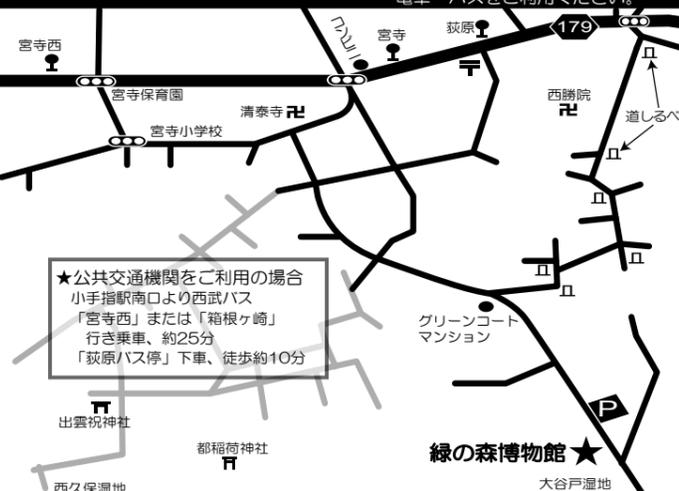
緑森の展示物は園内の動植物、風景、文化、歴史などすべてです。決められた展示期間もありません。時間をかけて今も変化し続ける緑森の展示をお楽しみください。(もくぞう/島貫)

## ◆緑の森博物館の利用ルール◆

緑の森博物館では、以下の7つのルールを守って楽しく過ごしていただくようお願いしています。

- 1) 植物や野鳥、小動物、昆虫等の生き物をむやみにとったり、傷つけたりしないでください。
- 2) 他から持ち込んだ動植物(外来種)を放さないでください。
- 3) 原則として広場や観察路以外の場所に入らないでください。
- 4) 犬などのペットを放さないでください。(フンの後始末もしっかりと行いましょう)
- 5) 車道以外の場所には、自転車やバイクで入らないでください。
- 6) バーベキューや花火など火を使わないでください。
- 7) ゴミは持ち帰りましょう。

## 【アクセス】



★公共交通機関をご利用の場合  
小手指駅南口より西武バス  
「宮寺西」または「箱根ヶ崎」  
行き乗車、約25分  
「荻原バス停」下車、徒歩約10分

開館時間 9:00~17:00 【入館無料】  
休館日 月曜日、祝日の翌日(その日が祝日の場合をのぞく)  
【公式HP】 <http://www.saitama-midorinomori.jp/>  
指定管理者 株式会社自然教育研究センター

発行:さいたま緑の森博物館  
発行年月:2011年10月  
住所:〒358-0014 埼玉県入間市宮寺889-1  
TEL/FAX: 04-2934-4396

# さいたま緑の森博物館 ニュースレター

Saitama Midori-no-mori Nature Park News Letter

# はくぶつかんだより 03

さいたま緑の森博物館ニュースレターは、緑森(みどりもり)の様々な情報を年4回お届けいたします。

## 4月の管理開始から半年が経ちました

4月からさいたま緑の森博物館の指定管理者として、運営を初めて半年が経ちました。私たち案内所のスタッフは様々な業務に忙殺されながら、あっという間の半年だったというのが率直な感想かもしれません。

初めてのフィールドでの観察会、稲作や畑作など、多くの体験がスタッフにとって初めての経験でした。

以前から、緑森の管理運営にご協力いただいている、森林サポータークラブや緑の森倶楽部の皆さんには、色々とアドバイスやご協力をいただきました。

他にも、ここ緑森に足しげく通われているリピーターの皆さんや地元の方々にも多くのご助言をいただきました。

## 緑の森フェスタ ~秋~を開催します!

11月5日から、『緑の森フェスタ ~秋~』を開催いたします。今回のフェスタでも多くの方にご協力いただき、作品展やオカリナ演奏会、野外朗読劇、野菜の販売などを行う予定です。11月14日県民の日まで開催いたしますのでぜひ、緑森まで足を運んでいただければと思います。

今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。(現場統括責任者 長谷川 勝)



ゴンズイ〔ミツバウツギ科〕

## みどり森のいきもの暦

10月から12月にかけて、緑森で見られる主な動植物を紹介します。緑森を歩きながら探してみましょう! 美しい花や実は自然のもの。採取はご遠慮ください。

	10月	11月	12月
	上 中 下	上 中 下	上 中 下旬
<b>植物</b>			
<b>花</b>	ツリフネソウ ミゾソバ ユウガギク ハナタデ ヤマホトトギス	コブシ ウメモドキ ヤブコウジ マユミ ゴンズイ	実 シロダモ テイカカズラ
<b>昆虫</b>			
エンマコオロギ		たまごで土の中にねむってます。	
トノサマバッタ		たまごで土の中にねむってます。	
<b>野鳥</b>			
オオルリ、キビタキ、コサメビタキ などが東南アジアへ渡っていきます。			
		カケス(10月)やルリビタキ(11月)、アカゲラ(12月)が山地から降りてきます。	
			ツグミ、シロハラ、ジョウビタキ、カシラダカ、ベニマシコなどがシベリアから渡ってきます。

# 赤い木の実



ウメモドキ [モチノキ科]

赤い実は葉がおちたあとに残りよく目立つ。このあたりでは庭や畑などの土地の境界に植えられることも多い。



エノキ [ニレ科]

高い木の枝でさりげなく実っている。赤褐色の実はねっとりして甘い。



サネカズラ [モクレン科]

別名ピナンカズラ。常緑のつる性。西久保湿地に少し見られる。



コブシ [モクレン科]

とても風変わりな実。ゴツゴツした皮から朱色のタネがのぞき現れ、ついには白い糸でぶら下がる。



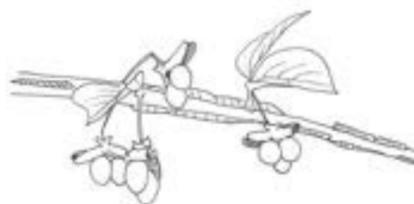
サルトリイバラ [ユリ科]

つる性で木の仲間。雌雄異株なので、実のなる株は雌。ちなみに葉はルリタテハの幼虫の食樹。



シロダモ [クスノキ科]

常緑樹。11月頃、赤い実をつける。花と実と両方が見られる。



ニシキギ [ニシキギ科]

枝にコルク質の翼（よく）がつくのが特徴。実は熟すと皮が裂けて朱色の仮種皮に包まれたタネが現れる。



マユミ [ニシキギ科]

ほんのりピンク色の実が熟して4つに裂けると、朱色の仮種皮に包まれたタネが現れる。案内所にもある。

# みどり森の木の実図鑑

秋の森で目をひくさまざまな色や形の実。緑森で見られる木の実を色別とどんぐりの仲間に分けてご紹介します。ぬり絵としてもお楽しみください。

## ●色づく訳は●

植物は自分ではタネを遠くまで運べません。しかし空を飛ぶ鳥が実を丸呑みすれば、タネは糞と一緒に森にばら蒔かれ、結果としてタネを遠くまで運んでもらえるのです。そこで熟した実は鮮やかな赤や青や紫に色づいて、鳥たちに見つかりやすくしています。



ガマズミ [スイカズラ科]

6月頃白い花を咲かせていたものが、9月終わりから実が赤く色づく。実は酸っぱい。



ヤブコウジ [ヤブコウジ科]

暗い雑木林に生える小さな常緑樹。実は10月ごろ赤く熟す。

## ●もちつもたれつ●

森にすむアカネズミや鳥のカケスはどんぐりをたくさん食べます。さらに冬の食料として蓄える習性がある彼らは、どんぐりをあちこちに埋めて隠します。すると、食べ残されたどんぐりは新天地で春に芽生えることに。木の実と動物のもちつもたれつの関係です。



コナラ [ブナ科]

落葉樹。狭山丘陵にいちばん多いどんぐりの木。実は長さ1.6～2.2センチ。殻斗のうろこ模様がこまやか。

# 青・紫の木の実



クサギ [クマツツラ科]

赤紫色のガクが星型に開くと中央に青色の実。



アオツツラフジ [ツツラフジ科]

つる性。実は藍色。実をつぶしてタネを出すとアンモナイト型のタネが。西久保湿地と都稲荷の間の堀沿いに見つかる。



ムラサキシキブ [クマツツラ科]

低木。葉がおちても実は残り目立つ。



ミズキ [ミズキ科]

サンゴのような枝に濃い紫の実がつく。秋に南へ渡る野鳥たち（キビタキ、オオルリなど）の大切な食料となる。



殻斗（かくと）



アラカシ [ブナ科]

常緑樹。殻斗のしま模様が特徴。緑森の雑木林にはシラカシよりも少ないと思われる。

シラカシ [ブナ科]

常緑樹。殻斗はしま模様でアラカシに似ているが、白っぽい細かな毛が密生する。



クヌギ [ブナ科]

落葉樹。コナラの次に多い木。大きくまん丸いどんぐり。どんぐりは花が咲いた翌年の秋に熟す。



クリ [ブナ科]

落葉樹。イガはどんぐりの殻斗にあたる。緑森の周辺には、栽培種の大きなクリと実の小さい野生のシバグリ・ヤマグリ両方が見られる。

# どんぐりの仲間